



病院・介護老人保健施設の管理栄養士です

医療法人社団 協友会
介護老人保健施設
リハビリケアかつしか
主任
遠藤 健太さん
(2005年卒業 34期生)



医療法人社団 修世会
木場病院
栄養科科长
石塚 梓さん
(2005年卒業 34期生)



栄養士より専門的な資格として、「**管理栄養士**」があります。管理栄養士の国家試験を受けるためには、
本校を卒業後に3年以上の実務経験が必要です。今回は試験を合格し、病院と介護老人保健施設の
管理栄養士として活躍している卒業生2人に、インタビューしてみました！

Q.卒業後の経歴を教えてください。

遠藤：栄養士として病院で3年弱、給食委託会社(*)で1年働き、管理栄養士資格を取得しました。

その後は再度病院で3年働き、現在は介護老人保健施設で8年目を迎えます。

石塚：病院の栄養士として3年働き、管理栄養士資格を取得しました。その後管理栄養士として、病院や介護老人保健施設などの施設や、給食委託会社の栄養士の指導を行いました。結婚出産を経て、入院外来患者の栄養指導や入院患者の栄養管理を主に行っています。

Q.病院・高齢者施設の管理栄養士でやりがいを感じる時はどんな時ですか

遠藤：病院でも介護老人保健施設でも食を通じて健康や喜びを与えるられるのは、その場にいる栄養士の働きにかかっていると思います。献立作成・栄養指導、その他全ての栄養士業務に真摯に取り組まなければ達成することはできないため、日々遣り甲斐を感じています。1番嬉しいことはやはり「料理が美味しい」と言われることです。

石塚：栄養指導で病状が安定したり改善した時にやりがいを感じます。栄養士として給食業務に携わっていた時は「美味しかったよ！」と声を掛けてもらったことが、嬉しかったです。



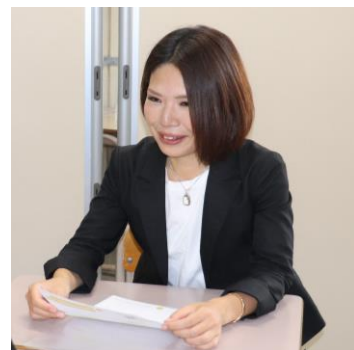
* 給食委託会社…病院や高齢者施設、保育園、学校など様々な現場で給食にかかわるサービスを提供する会社

Q.管理栄養士の資格を取得して、仕事の幅は広がりましたか？どのような仕事をできるようになりましたか？

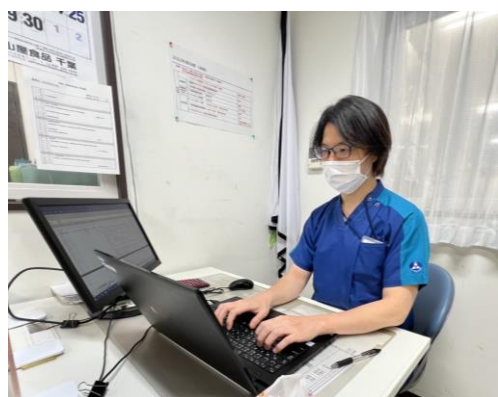


遠藤：管理栄養士を取得すると仕事の幅は格段に広がります。わかりやすいのは傷病者に対しての栄養管理ができるようになります。また管理栄養士の取り組みで、病院や介護老人保健施設において、質の向上と収入を増やす業務が多くあります。今後も診療報酬や介護報酬改定時には管理栄養士の業務の幅がさらに広がっていくことが予想されます。

石塚：栄養指導や栄養管理など、幅が広がったと思いますが、根幹としての給食業務があってこそだと思っています。



Q.管理栄養士のおすすめポイントを教えてください。



遠藤：栄養士として受託会社で働いた時に比べて比較的休みが多く、残業がそこまで多くないためライフワークバランスが充実します。

石塚：管理栄養士は地味な職業だと思います。ただ、生きるために必要な「食べる」ということを支えることができるかけがえのない職業です。アスリートを支える食事、成長期の子供を支える食事、妊娠期出産後を支える食事、健康を支える食事…たくさんの日常の中で、地味だけ却不是ではない。そんな縁の下の力持ちな部分がおすすめです。

管理栄養士免許取得までの流れ



Have a nice school life
after